



隊友四街道支部便り



令和6年9月号 支部事務局
副支部長：奥村（090-8728-7838）

「令和7年度防衛省概算要求の概要」について紹介致します

「防衛力整備計画（令和4年12月16日閣議決定）の3年度目となる概算要求では「計画期間内の防衛力抜本的強化実現のため令和7年度中に着手すべき事業を積み上げるとともに、期間中のこれまでの事業の進捗状況や予算の執行状況も踏まえ、歳出予算の要求額を着実に増額」との基本的考え方の下、8兆7326億円（契約ベース）を要求しています。以下、抜粋紹介します。

①スタンド・オフ防衛能力（各種ミサイルの整備）→☆12SSM能力向上型（地発型）の配備1年前倒し ☆トマホークミサイルの配備1年前倒し（海自要員養成教育） ②領域横断作戦能力（宇宙領域）→☆航空宇宙自衛隊への改称を見据え、宇宙空間の監視や対処任務を目的とする宇宙作戦団（仮称）を新編 ③機動展開能力・国民保護（民間海上輸送力の活用等）→☆島嶼部等へ必要な部隊等を確実に輸送するために、民間船舶6隻（現状2隻から8隻体制へ）を確保（PFI方式） ④人的基盤の抜本的強化に関する取組（魅力化、部外力等）→☆自衛官等の給与及び手当等の見直し（自衛官任用一時金の見直し、転勤で長距離異動する自衛官の処遇改善、過酷な任務に従事する隊員の処遇改善、予備自衛官等の処遇改善等） ☆生活及び勤務環境等の改善（居室の個室化、艦艇の通信環境整備） ⑤自衛隊の運用を円滑にするための持続性、強靱性→☆弾薬の確保、装備品等の維持整備、自衛隊施設の強靱化、最適化 ⑥令和7年度の主な編成について→☆陸自：各補給処を一元的に運用する補給本部（仮称）へ改編及び後方支援学校（仮称）の新編 武器学校、需品学校、輸送学校を統合 ☆海自：護衛艦隊、掃海隊群等を一元的に指揮監督する水上艦隊（仮称）の新編、情報作戦集団（仮称）の新編 ☆空自：宇宙空間の監視や対処任務を目的として、将官（将補）を指揮官とする「宇宙作戦団（仮称）を新編

ヒゲの隊長 参議院議員佐藤正久メルマガ「能登半島地震に伴う自衛隊の災害派遣が終了」

能登半島地震に伴う自衛隊の災害派遣を8月末で終了しました。能登半島地震に伴う自衛隊の災害派遣、震災対処としては、東日本大震災を超えて、過去最長となっていました。自衛官の帰還にあたり、珠洲市からは見送り行事が催され、感動的なものになりました。これまで人命救助捜索活動、衛生支援輸送支援、炊き出し、入浴支援と、多岐にわたる活動に対して感謝、感謝の声が被災者から寄せられています。隊員の方の「訓練よりは全然楽です。国防のための訓練は本当に厳しいし、先が見えない。災害派遣は先が見えるし、そこに支援を待っている人がいるから頑張ります」という言葉は、今でも耳に焼き付いています。能登半島地震対応はこれで終わりますが、国防に加えて、南海トラフ対応とか、台風による水害対応にも自衛隊は期待されています。今後は引き続き状況を見ながら、迅速に被災者目線で対応していただければと思います。（9/13配信）

○支部会員の「現況」把握について情報提供のお願い（前月号に引き続きの再掲）

転居及びご逝去等に関する情報が共有出来ない事例が散見しています。地区担当理事に新聞等配布時確認頂いておりますが、会員の皆様におかれても当該情報に接した場合、支部事務局への連絡を是非お願いしたいと思います。支部として重視しております。先月はご家族から2件の情報提供がありました。

各種イベント案内及び皆様へのお願い！

- 四街道市憲法改正推進市民の会（四街道市文化センター 301・302会議室）
日時：令和6年12月1日（日）1000～1130（開場：0940）
講師：元自衛隊統合幕僚長 折木良一様（防衛大学校16期生・元陸将）
テーマ：「日本の安全保障と憲法改正」 定員：100名（参加無料）
申込み：11/20まで（連絡先：市民の会事務局長 中尾英夫 090-1859-6548）
- 四街道支部ゴルフコンペ（真名ゲーリーブレイヤー）について
10月17日（木）に実施予定。細部は担当者から連絡・調整します。

次回の役員会：10月19日（土）0900～1000 ※大日蓮橋台区自治会館